

## 自己評価報告書(最終報告)

報告者

生活・健康系コース(保健体育)／藤田 雅文

## ■平成23年度の目標に対する自己点検・評価

## Ⅰ. 学長の定める重点目標

## Ⅰ-1. 教育大学教員としての授業実践

本学の目的は、豊かな教養と教育実践力をもった教員を養成し、学校現場に送り出すことにある。このことを実現するには、教科専門・教科教育・教職専門等の各分野の授業が、学校現場の実践と関連性が保たれていることが必要である。あなたは、教員養成大学の教員として、本年度はどのような授業計画を立て実現しようとするのか、これまでの取り組み状況を総括し、具体的に示して欲しい。

## 1. 目標・計画

これまでの学生による授業評価において、担当するすべての授業に4.5以上の総合評価を得ている。それゆえ、基本的には本年度も同様の計画で授業を実施する。

大学院の「学校体育経営研究」では、具体的な事例の資料配布と現職教員の事例発表を行って知識・理解を深める。「学校体育経営演習」では、体力テスト、保健体育科の成績処理、授業研究のデータ処理の技法をパソコンを使った演習で獲得させる。

学部の「健康・スポーツ科学Ⅰ」では、小学校の器械運動の学習内容として例示されている技の連続図説を掲示した学習資料を配布し、個別指導をしながら技能の向上を図る。「初等体育Ⅰ」では、授業記録のレポートを課して指導案作成の能力を高め、ミニ模擬授業を交えて指導法の知識・理解を深める。「初等中等教科教育実践演習」ではマイクロティーチングを実施し、「初等中等教科教育実践Ⅱ」と「体育経営管理学Ⅰ・Ⅱ」においても学校教育現場を直視し、学習指導要領に添った内容を講義する。

## 2. 点検・評価

大学院前期の「学校体育経営研究」では、具体的な事例の資料配布と現職教員の事例発表を行って知識・理解を深めた。学生による授業の総合評価は4.5点であった。後期の「学校体育経営演習」では、パソコン(Excel)を使って、体力テスト、保健体育科の成績処理、授業研究のデータ処理の技法を獲得させた。学部前期(1年生)の「初等中等教科教育実践基礎演習」では、3人グループで鉄棒運動、跳び箱運動、ハードル走の模擬授業を実施し、後期(2年生)の「初等中等教科教育実践Ⅱ」では、受講生全員に30分間の模擬授業を課し、体育授業実践力の育成を図った。通年(1年生)の「健康・スポーツ科学Ⅰ」では、小学校の器械運動の学習内容として例示されている技の連続図説を掲示した学習資料を配布し、個別指導をしながら技能の向上を図った。通年(2年生)の「初等体育Ⅰ」では、授業記録のレポートを課して指導案作成の能力を高め、ミニ模擬授業を交えて指導法の知識・理解を深めた。後期(3年生)の「体育経営管理学Ⅰ・Ⅱ」では、体育・スポーツ振興の全体構造を理解させ、関心があるスポーツ団体の事業についてのプレゼンテーションを課した。

## Ⅱ. 分野別

## Ⅱ-1. 教育・学生生活支援

## 1. 目標・計画

1. 体育実技授業での個別指導によって、学生の技能を高めるとともに、教員採用試験のための模擬授業・面接に協力し、実技特別講座で直前指導を行なう。
2. 体育施設の整備に努め、男女ハンドボール部の顧問としての責務を果たす。
3. 学生の興味関心に添ったテーマを設定し、卒論・修論指導を行なう。
4. 教員採用率の向上に向けて、担当科目に関連する採用試験問題に触れ、理解させる。
5. 学生の進路、悩み等の相談に随時応じる

## 2. 点検・評価

就職支援行事の教採実技ガイダンス(集団・個人)において、模擬面接官を務めた(5/21, 6/18)。  
ハンドボール部顧問として、愛媛県立総合体育館で開催された四国インカレで監督を務めた(6/25)。  
就職支援行事の教採実技ガイダンス(体育)において、延べ39名に器械運動の指導を行った(7/6,7/9)。  
大学院生の主免教育実習(藍住西小学校)の算数の研究授業に参加し、指導助言を行った(9/29)。  
4月から9月まで、草原状態になっていた、陸上競技場、サッカー・ラグビー場の草刈り作業を2h×8回行った。  
就職支援行事の教採実技ガイダンス(個人)[模擬授業・個人面接(1回目)]において、面接官を務めた(2/18)。  
学部生2名と大学院生4名の卒論・修論指導を行った。

## Ⅱ-2. 研究

### 1. 目標・計画

継続している総合型地域スポーツクラブと学校運動部活動の経営のあり方に関する研究成果を学会発表し、学会誌や大学紀要等に投稿する。

## 2. 点検・評価

「全国調査から探る阿波っ子の体力等の課題」(単著)徳島教育, 第1139号, pp.6-8(5/15)。  
「鳴門教育大学における体育科・保健体育科教育コースの教育実践コア科目の概要」(口頭発表)第59回中国・四国地区大学教育研究会, 鳴門教育大学(5/29)。  
「高等学校硬式野球部の競技成績の規定要因に関する研究」(口頭発表)日本体育学会第62回大会, 鹿屋体育大学(9/25)。  
「総合型地域スポーツクラブの効果に関する研究」(共著)鳴門教育大学研究紀要, 第27巻, pp.405-413(3/19)。  
日本スポーツ教育学会第31回大会(兵庫教育大学神戸サテライト, 11/12-13)の実行委員を務めた。  
日本体育・スポーツ経営学会第35回大会(鳴門教育大学, 3/20-22)の実行委員長の激務を遂行した。

## Ⅱ-3. 大学運営

### 1. 目標・計画

1. 部及びコース選出の各種委員会(就職委員会, 附属学校運営委員会, 衛生委員会等)の委員として、本学の運営に貢献する。
2. 教員採用試験の合格率アップに向けて、就職支援事業に協力する。
3. 学部及び大学院の受験生確保のため、講習会などの機会を通じて広報活動を行なう。
4. 教育支援アドバイザーに登録し、依頼された業務を遂行する。

## 2. 点検・評価

就職委員会, 附属学校運営委員会, 衛生委員会, 実地教育専門部会の委員, セクシュアル・ハラスメント等に係る相談員の職務を遂行した。  
教育支援講師・アドバイザー等派遣事業の講師として, 第57回徳島県小学校体育指導者講習会, 第53回徳島県小学校体育科教育研究大会事前研究会, 第53回徳島県小学校体育科教育研究大会に参加し, 器械運動の授業について指導助言を行った(7/29, 8/22, 11/18)。  
学部前期入学試験における小論文(共通), 体育実技の問題作成者を務めた。  
日本体育学会・日本スポーツ教育学会・日本体育・スポーツ経営学会において, 大学院定員確保のための広報活動を行った。

## Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

### 1. 目標・計画

1. 附属学校からの依頼に応じて, 研究会等で指導助言を行なう。
2. 教育実習の研究授業に参加して, 附属教員とともに学生の指導に当たる。
3. 長年務めているスポーツ団体等の役員の業務を遂行し, 地域社会に貢献する。
4. 本学の国際交流基金の協力要請に応じる。

### 2. 点検・評価

附属小学校合同研究会に参加し, 音楽の授業を参観し, 研究協議を行った(6/1)。  
第55回附属中学校教育研究発表会に参加し, ダンスの授業を参観し, 研究協議を行った(6/3)。  
附属中学校での教育実習の授業を参観し, 実習生に対して指導助言を行った(9/29)。  
附属中学校LFTにおいて「スリムになるスロートレーニング」について講話した(10/6)。  
徳島県教育委員会「子どもの体力・運動能力向上対策委員会」座長, 徳島県体育協会「競技力向上委員会」委員などを務め, 以下の多種の社会的業務を遂行した。

1. 第8回鳴門ウチノ海総合公園開園記念U-10フットサル交流大会委員長, 鳴門ウチノ海総合公園を育てる会(4/29)
2. 平成23年度徳島県男女体操競技審判研修会及び2・3種審判認定講習会講師, 徳島県体操協会(5/15)
3. 第49回四国中学校総合体育大会男子体操競技審判長, 徳島県中学校体育連盟(8/6-7)
4. 第66回国民体育大会徳島県選手団本部役員(総務), 徳島県体育協会(10/7-11)
5. 平成23年度スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会講師, 徳島県体育協会(10/16, 11/6, 1/29)
6. 子どもの体力向上指導者講習会講師, 文部科学省・徳島県教育委員会(12/5)
7. 徳島市城東小学校校内研修会講師, 徳島県教育委員会(1/17)
8. 小学校体育授業はつらつサポート, 徳島県教育委員会(1/23, 31, 2/8)
9. 第33回鳴門カップ体操競技選手権大会競技委員長, 鳴門市・鳴門市体操協会(3/17)

平成23年度日本体操協会功労賞を受賞した(3/18)。  
国際交流基金に継続して協力した。

## Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

日本体育・スポーツ経営学会第35回大会を招致し, 平成24年3月20~22日の期間に本学のB101講義室を主会場にして開催した。  
全国から大学教員・大学院生等100名が参加し, 充実した研究協議が展開されたことから, 本学の社会(学界)貢献と知名度アップの一助となったと考える。